

# 第 66 期 中 間 報 告 書

(2025年4月1日から)  
(2025年9月30日まで)

fligan

---

## 愛眼株式会社

証券コード 9854

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申しあげます。

さて、当社は2025年9月30日をもって第66期中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化、アメリカの通商政策の影響などにより、不確実性が高く不安定な国際情勢の影響を受けました。国内では雇用・所得環境の改善が継続し、個人消費は緩やかな増加傾向を維持しております。しかし、物価上昇の影響が長引けば消費者マインドの停滞に繋がる懸念があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「お客様の暮らしを、より快適に、より豊かにする企業となることを目指し、安心の技術、納得の商品、気持ちに寄り添うサービスを提供します。」を経営方針に掲げ、「目と耳の健康を守る」ことを社会的使命・責任と位置づけ、顧客体験価値の最大化に努めております。また、業務効率化、働き方改革、女性活躍推進などの組織・人材面の施策も推進し、柔軟かつ積極的な組織づくりに取り組んでおります。

当中間連結会計期間の経営成績は、店舗での対面型販売が平時の状態に戻り、売上高は7,999百万円（前年同期比4.7%増）となりました。売上総利益率は、商品仕入コストの上昇、割引セールやポイント付与サービスなどの販売戦略上の影響があったものの、一部商品の価格改定や品目別売上構成比の変化により0.6ポイント上昇しました。経費面では、広告宣伝費や人件費など主要な運営コストの上昇があったものの、改装費用の圧縮や経費コントロールに努めた結果、販売費及び一般管理費は5,281百万円（前年同期比0.7%増）となり、売上高に対する販管費の割合は2.6ポイント減少しました。

この結果、営業利益は206百万円（前年同期は営業損失46百万円）、経常利益は238百万円（前年同期は経常損失19百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は160百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失61百万円）となりました。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間の期首より、「海外眼鏡販売事業」の報告セグメント区分を廃止しております。これは、前中間連結会計期間において、海外眼鏡販売事業から撤退したことによるものであります。これにより、当中間連結会計期間の期首より「眼鏡小売」及び「眼鏡卸売」の2つの報告セグメント区分となっております。

## 【眼鏡小売事業】

国内眼鏡小売事業につきましては、長年培ってきた視力・聴力補正技術や高い専門性を要する商品提案力、接客・サービス力を結集した「愛眼ブランド」の信頼性と独自性の向

上に取り組んでおります。

販売促進面につきましては、お客様視点を第一とした商品開発に注力し、高品質で満足度の高い商品ラインナップを充実させました。さらに、新聞折り込みチラシ・DM・雑誌・動画・WEB広告・各種SNS等、複合的なメディアを活用した情報発信や、店舗特性に応じたマーケティング施策の強化によりブランド認知度向上を図っております。店舗オペレーションではタブレット端末や接客サポートシステム等のDX推進により効率性向上と顧客接点拡大に努めております。ネット通販事業につきましては、自社ECサイトに加え楽天市場ECモールへの出店や取扱商品の拡大に注力しております。

人材教育面につきましては、従来の教育指導に加え、2022年創設の国家検定資格である「眼鏡作製技能士」の資格取得を推進し、また、補聴器技能者育成のため「認定補聴器技能者」の資格取得にも注力しております。

売上高につきましては、社会経済活動の正常化に伴い人流が回復し、全体では前年同期比で増収となりました。主力品目の眼鏡は前年同期比で5.4%の増収となり、準主力品目の補聴器はお試しレンタルやアフターサービスが好評で前年同期比で8.2%の増収となりました。同じく準主力品目のサングラスは、猛暑の中で紫外線対策に対する関心が増えたものの、同業他社との競争の激化等の影響があり、前年同期比で若干の増収にとどまりました。

店舗につきましては、既存店舗のスクラップ&ビルドにより神奈川県海老名市と岐阜県山岡市に各1店舗、京都府城陽市に1店舗、計3店舗を新規出店しました。また、出店するショッピングセンターの閉館や館内のゾーニング変更などにより4店舗を閉店、既存店の活性化を目的とした改装を4店舗で実施しました。

この結果、売上高は7,812百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は208百万円（前年同期はセグメント損失27百万円）となりました。

#### 【眼鏡卸売事業】

眼鏡卸売事業につきましては、新商品の投入や販売支援による既存取引先との関係強化、新規取引先の開拓に努めております。

この結果、売上高は186百万円（前年同期比8.5%減）、セグメント損失は3百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長 佐々昌俊

企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第63期 (2023年 3 月期)	第64期 (2024年 3 月期)	第65期 (2025年 3 月期)	第66期 (当中間連結会計期間) (2026年 3 月期)
売 上 高(百万円)	14, 198	14, 658	14, 863	7, 999
経 常 利 益 又 は 経常損失 (△) (百万円)	△385	△59	△47	238
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失 (△) (百万円)	△803	△181	3	160
1株当たり中間(当期) 純利益又は1株当たり(円) 当期純損失 (△)	△41. 39	△9. 36	0. 17	8. 29
総 資 産(百万円)	13, 991	14, 079	13, 854	14, 250
純 資 産(百万円)	12, 144	12, 103	12, 011	12, 240
1株当たり純資産額(円)	625. 78	623. 67	618. 94	630. 75

株式の状況 (2025年 9 月 30日現在)

- (1) 発行可能株式総数

60, 000, 000株
- (2) 発行済株式の総数

21, 076, 154株

(自己株式1, 669, 164株を含む)
- (3) 株 主 数

24, 968名
- (4) 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
有 限 会 社 佐 々 興 産	2, 138 千株	11. 02 %
愛 眼 従 業 員 持 株 会	948	4. 89
愛 眼 共 栄 会	828	4. 27
ベストメディカルサービス 株 式 会 社	740	3. 82
下 條 三 千 夫	545	2. 81
佐 々 栄 治	482	2. 49
INTERACTIVE BROKERS LLC	462	2. 38
佐 々 善 二 郎	375	1. 94
佐 々 千 恵 子	321	1. 66
セイコーオブティカルプロダクツ 株 式 会 社	298	1. 54

(注) 持株比率は、自己株式 (1, 669, 164株) を控除して計算しております。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (2025. 3. 31現在)	当中間期末 (2025. 9. 30現在)	科 目	前期末 (2025. 3. 31現在)	当中間期末 (2025. 9. 30現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	7,393	7,757	流動負債	1,336	1,489
現金及び預金	4,299	4,432	支払手形及び買掛金	356	415
受取手形	4	4	未払法人税等	153	159
売掛金	773	710	契約負債	331	325
商品及び製品	2,073	2,361	賞与引当金	27	131
原材料及び貯蔵品	38	36	その他	467	457
その他	204	212	固定負債	506	520
貸倒引当金	△1	△1	繰延税金負債	97	127
固定資産	6,461	6,493	再評価に係る繰延税金負債	6	6
有形固定資産	3,049	3,056	資産除去債務	331	326
建物及び構築物	1,030	1,030	その他	70	59
土地	1,799	1,799	負債合計	1,843	2,009
その他	219	226	純資産の部		
無形固定資産	15	15	株主資本	14,283	14,444
ソフトウェア	14	14	資本金	5,478	5,478
その他	0	0	資本剰余金	6,962	6,962
投資その他の資産	3,396	3,422	利益剰余金	2,894	3,055
投資有価証券	604	700	自己株式	△1,051	△1,051
敷金及び保証金	2,484	2,458	その他の包括利益累計額	△2,271	△2,203
その他	307	262	その他有価証券評価差額金	199	267
資産合計	13,854	14,250	土地再評価差額金	△2,471	△2,471
			純資産合計	12,011	12,240
			負債純資産合計	13,854	14,250

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (2024. 4. 1～2024. 9. 30)	当中間期 (2025. 4. 1～2025. 9. 30)
売上高	7,643	7,999
売上原価	2,448	2,512
売上総利益	5,195	5,487
販売費及び一般管理費	5,241	5,281
営業利益又は営業損失(△)	△46	206
営業外収益	46	47
営業外費用	19	14
経常利益又は経常損失(△)	△19	238
特別利益	36	25
特別損失	33	14
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△16	250
法人税、住民税及び事業税	44	88
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	45	89
中間純利益又は中間純損失(△)	△61	160
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△61	160

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (2024. 4. 1～2024. 9. 30)	当中間期 (2025. 4. 1～2025. 9. 30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△104	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△163	133
現金及び現金同等物の期首残高	1,854	1,793
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,691	1,926

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社の概況 (2025年 9月30日現在)

商号	愛眼株式会社
本社設立	大阪市天王寺区大道四丁目 9 番12号 1961年 1 月11日
資本金	5,478百万円
主要な事業内容	当社グループは、眼鏡・補聴器・サングラス・その他関連商品を取り扱う眼鏡専門店チェーンを展開しております。
従業員数	682名 (ほか平均臨時従業員数385名)
店舗数	眼鏡店 212店舗
連結子会社	1 社

# 役員 (2025年 9月30日現在)

代表取締役社長	佐々昌俊
取締役	佐々雅彦
取締役	松本隆行
取締役	森重洋一
取締役	山田吉隆
常勤監査役	山岸仁
監査役	明石敬子
監査役	溝内 有香
監査役	松嶋依子

- (注) 1. 森重洋一及び山田吉隆の両氏は、社外取締役であります。  
2. 明石敬子、溝内有香及び松嶋依子の 3 氏は、社外監査役であります。

# 株主優待

3月31日及び9月30日現在、当社の株式を次のとおりご所有の株主様に対し、株主優待割引券を贈呈します。

[メガネ]	・100株以上500株未満ご所有	30%割引券 1 枚
	・500株以上ご所有	30%割引券 2 枚
	(但し、特別限定品は20%割引)	
[補聴器]	・100株以上ご所有	10%割引券 1 枚
	(但し、特別限定品は除く)	

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	(1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電 話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・休日を除く)
(インターネット ホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
公告の方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

### <ご注意>

#### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

#### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページアドレス <https://www.aigan.co.jp/>